

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	直売所発都市部との農業交流事業
事業主体 (連絡先)	小海町役場 0267-92-2525
事業区分	(6) イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,560,552 円 (うち支援金: 1,096,000 円)

事業内容

直売所を活用し、農山村である小海町民(直売所生産者)と都市部の人が農業を通じた伝統的な生活体験や交流を楽しむこうみ有機農業塾を計5回行う。

町内も対象に有機農業の講演、直売所を活用した農業の今後について考えるシンポジウムを開催する。

1. こうみ有機農業塾

第1回 11/24 第2回 8/25.26 第3回 9/15.16
第4回 10/13.14 第5回 11/24

2. 農業シンポジウム

H31年1/27開催



【農業塾とシンポジウム】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 直売所来客者数について5月より前年以上を達成した。特にホームページ開設後の10月は前年比140%を記録するなど小海町直売所の認知度増加に大きく効果があった。
- こうみ有機農業塾へ計16名よりの申し込みがあり総勢13名の参加があった。シンポジウムへは町内外より67名の参加があった。アンケート結果より、有機農業にも興味を持っていただけたことがわかった。また、都市部と積極的に交流し農産物を販売していくことの重要性がわかっていた。農業塾を通し小海町へ移住をご希望する方が2名いた。
- 直売所HPからの問い合わせも多数あり、来客数も考えると当初予定していた30名を大きく越える交流人口の増加があったといえる。

【目標・ねらい】

- 都市部の方への小海町直売所の認知度増加
- 農業を通して小海町・直売所に興味を持ってもらう
- 交流人口の増加

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

小海町農産物加工直売所を通じ都市部の方や町内外の方との交流がさらに増えていくよう、農業塾のような自分で育てた野菜を直売所へ出荷するという体験イベントを行っていく。ホームページを活用し、農業体験イベントの広報を広く行っていく。

※自己評価【A】

【理由】

当初の目標であった交流人口について目標を大きく越える結果となった。移住予定の方も2名いるため予定を上回る効果があったといえる。ホームページを有効活用したことで宣伝効果があった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある